

差別のない世界を・・・

～差別をなくすために自分ができること～

I. 学校・職場

- ・ 相手を大切にすること意識（言動）で生活する。
- ・ いじめとか、知らんぷりとかそういうつまらないことで楽しめる人なんて、小さな人間だ。
- ・ 一人一人が他人を認めていこうとすることが大切だと思う。
- ・ 大学では格差をなくすため、技術支援として多くの留学生をうけいれています。
- ・ みんなと仲良く！！思いやりをもって楽しく過ごすことができれば、差別もなくなるはず！相手を知る・理解するためにまずは、自分から一歩踏み出そう！
- ・ 1人1人回りの人のことを意識して悪いことばかり見ないで、よい所を見つけるようにする。
- ・ みんな仲よくすればいい。
- ・ あい手をすきになる
- ・ 高校で人権教育として部落差別の歴史を学びました。そのような授業は差別をなくすため学校でできることだと思います。
- ・ 一人一人が大切な存在人と比較するのではなくオンリー・ワンに自信をもってオンリー・ワン（相手の）も尊重して
- ・ みんなとなかよくして友だちなる。
- ・ 1人1人の個性を尊重して仲間はずれを作らないように努める。
- ・ 1人1人が同じ人間だからきらいだからとってはなれないようにする
- ・ 1人1人差別がないように世界じゅうがなかよくする。

II. 地域

- ・ 近所の人たちと交流を深める。まずはあいさつから。
- ・ 目の前の人と楽しく仲よくしたい
- ・ 毎日小さなことでもいいからできることをやる。千里の道も一歩から。
- ・ 一人一人がみんなの町！をたいせつにしていけばこの町はさべつがなくなるだろう！
- ・ みんな、仲よく、差別のないようにしたいです。
- ・ 一人一人の人間の尊厳が保たれ幸せになること！
- ・ 1人1人が大事な存在。自分と同じくらい他人も大切だと思う広い心を持とう！！

Ⅲ. 世界

- ・ 南北格差の差別は利益優先貿易を差別是正方式に改めては
- ・ 肌の色で差別されてしまう。
- ・ 発展途上国に対して、私達がすべきことは物資支援だけでなく技術支援をすることに、国の格差は無くなると思います。
- ・ 白人・黒人差別なく、みんな仲よくして行ってほしい
- ・ 経済力の差別解消は弱者に優しい政府を選ぶこと
- ・ お互いの国の歴史や価値観を尊重する
- ・ 自分と違うところ（肌の色や能力など）を差別の対象として扱うのではなく、その人の個性として大切にする。
- ・ 正しい物は正しいという気持ち人の良い所を認め合いお互いに人間としての心で触れ合えるよう、一人一人の心を育てることができるようになっていけばいいな
- ・ 差別ない世界を築いていこう
- ・ 自分がされたらどれだけ嫌か、それを相手の立場になって考えられる人間であることが大切
- ・ まず、世界ぜん国で自分より人へのやさしさをなければならぬ！
- ・ 言葉が通じなくても世界のこまってる人の助けになりたい
- ・ 自分と違うところをばかにしたり、嫌がったりしない。
- ・ 自分を大切に　そして同じように自分のまわりの人を大切に！人は皆この世界で唯一のかけがえのない存在なのですから。